

授業科目の区分等：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	4年	2	必修
担当教員			
豊田 正明			

授業のねらい（概要）	会計学に関する自己の研究課題の設定に始まり、論文指導や面接指導を繰り返しながら、卒業研究としての卒業論文の作成及び課題研究としての研究成果の発表を行うことを目的とする。具体的には、学部教育で獲得した知識や能力を総合的に活用することについて学ぶとともに、各自の研究課題に則した研究計画を設定し、資料収集、先行研究の調査、報告、意見交換などを繰り返しながら、卒業論文の概要作成を行い、研究課題に関する中間成果発表を行う。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】卒論完成に向けて 卒業論文完成に向けての三年次で行った作業の確認と指導 予習（時間）：昨年度行った作業内容をまとめておく。（120） 復習（時間）：今後のスケジュールと内容を把握する。（120）</p> <p>第2回 【遠隔】執筆した部分の発表と指導① 各人が執筆した部分の発表をし、教員および全員で内容の指導・修正をおこなう。 予習（時間）：執筆した内容の発表準備。（120） 復習（時間）：指導された内容の加筆・修正。（120）</p> <p>第3回 【遠隔】執筆した部分の発表と指導② 各人が執筆した部分の発表をし、教員および全員で内容の指導・修正をおこなう。 予習（時間）：執筆した内容の発表準備。（120） 復習（時間）：指導された内容の加筆・修正。（120）</p> <p>第4回 【遠隔】執筆した部分の発表と指導③ 各人が執筆した部分の発表をし、教員および全員で内容の指導・修正をおこなう。 予習（時間）：執筆した内容の発表準備。（120） 復習（時間）：指導された内容の加筆・修正。（120）</p> <p>第5回 【課題】執筆した部分の発表と指導④ 各人が執筆した部分の発表をし、教員および全員で内容の指導・修正をおこなう。 予習（時間）：執筆した内容の発表準備。（120） 復習（時間）：指導された内容の加筆・修正。（120）</p> <p>第6回 執筆した部分の発表と指導⑤ 各人が執筆した部分の発表をし、教員および全員で内容の指導・修正をおこなう。 予習（時間）：執筆した内容の発表準備。（120） 復習（時間）：指導された内容の加筆・修正。（120）</p> <p>第7回 執筆した部分の発表と指導⑥ 各人が執筆した部分の発表をし、教員および全員で内容の指導・修正をおこなう。 予習（時間）：執筆した内容の発表準備。（120） 復習（時間）：指導された内容の加筆・修正。（120）</p> <p>第8回 【課題】執筆した部分の発表と指導⑦ 各人が執筆した部分の発表をし、教員および全員で内容の指導・修正をおこなう。 予習（時間）：執筆した内容の発表準備。（120） 復習（時間）：指導された内容の加筆・修正。（120）</p> <p>第9回 執筆した部分の発表と指導⑧ 各人が執筆した部分の発表をし、教員および全員で内容の指導・修正をおこなう。 予習（時間）：執筆した内容の発表準備。（120） 復習（時間）：指導された内容の加筆・修正。（120）</p> <p>第10回 執筆した部分の発表と指導⑨ 各人が執筆した部分の発表をし、教員および全員で内容の指導・修正をおこなう。 予習（時間）：執筆した内容の発表準備。（120） 復習（時間）：指導された内容の加筆・修正。（120）</p> <p>第11回 【課題】執筆した部分の発表と指導⑩ 各人が執筆した部分の発表をし、教員および全員で内容の指導・修正をおこなう。 予習（時間）：執筆した内容の発表準備。（120） 復習（時間）：指導された内容の加筆・修正。（120）</p> <p>第12回 執筆した部分の発表と指導⑪ 各人が執筆した部分の発表をし、教員および全員で内容の指導・修正をおこなう。 予習（時間）：執筆した内容の発表準備。（120） 復習（時間）：指導された内容の加筆・修正。（120）</p> <p>第13回 執筆した部分の発表と指導⑫ 各人が執筆した部分の発表をし、教員および全員で内容の指導・修正をおこなう。 予習（時間）：執筆した内容の発表準備。（120） 復習（時間）：指導された内容の加筆・修正。（120）</p> <p>第14回 執筆した部分の発表と指導⑬ 各人が執筆した部分の発表をし、教員および全員で内容の指導・修正をおこなう。 予習（時間）：執筆した内容の発表準備。（120） 復習（時間）：指導された内容の加筆・修正。（120）</p> <p>第15回 卒論全体の確認 各人がこれまで加筆・修正した内容につき、教員および全員で確認作業をおこなう。 予習（時間）：これまでの加筆・修正作業の完了。（120）</p>

	復習（時間）：改善点があった場合には加筆・修正。（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	専門的分野の学びを実務や社会で応用できる能力、課題解決力、創造的思考力、情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢を身につけることができます。 【身に付くスキル】 課題解決力・創造的思考力
到達目標	卒業論文完成の目処が立つ。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	前回内容を始めに確認する。
履修上の注意	各自の卒論に必要な資料等は収集しておく。
成績評価の方法・基準	学修意欲、発言、提出物、プレゼン等のゼミ内における行動内容を総合的に判断する。
教科書	
参考書・教材	
備考	2020年度は、5、8、11回を課題研究として学修する。 第5回 「執筆した部分の発表と指導④」について卒業論文の第1章を大まかに作成する。第1章の指示・確認等を6、7回の対面授業やmellyの指示で行う。全体で330分の学修を想定している。 第8回 「執筆した部分の発表と指導⑦」について卒業論文の第2章を大まかに作成する。第2章の指示・確認等を9、10回の対面授業やmellyの指示で行う。全体で330分の学修を想定している。 第11回 「執筆した部分の発表と指導⑩」について、卒業論文の第3章を大まかに作成する。第3章の指示・確認等を12、13回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。
教員との連絡方法	メール（講義の初めに周知する）